

## 令和7年度第4回S PODネットワークコア運営協議会 議事概要

日 時：令和7年10月31日（金）15：00～16：00

場 所：愛媛大学 城北キャンパス及び各コア校（Zoom開催）

出席者：別紙のとおり

議 題：

### 1. S PODフォーラム2025の総括について 【資料1、参考資料1－1～7】

事務局から資料1に基づき、S PODフォーラム2025の総括として、参加者数、満足度、事後アンケートから抽出した改善要望等について報告があった。

また、S PODフォーラム2025実施責任者である徳島大学吉田准教授から参考資料1－5に基づき、参加者企画枠及び全体の状況について報告があった。続いて、高畠FD専門部会長及び久保SD専門部会長から全体を通した所感が述べられた。

### 2. S PODフォーラム2026について 【資料2－1～3、参考資料2】

中井議長から資料に基づき、S PODフォーラム2026の全体テーマ、プログラムの時間割案、昨年度からの変更点について説明があった。続いて、愛媛大学上月講師からシンポジウムの概要について説明があった。コア校からの意見を踏まえ、休憩時間を増やすこと、参加者の交流の場を設けることを検討することとなった。

また、開講するプログラムについて、各専門部会で7講座ずつ検討し、11月19日（水）までにS POD事務局まで提出するよう依頼があった。

### 3. 令和9（2027）年度以降のS PODフォーラム持ち回りスケジュールについて 【資料3】

中井議長から資料3に基づき、令和9（2027）年度以降のS PODフォーラムの持ち回り案について説明があり、了承された。

### 4. 令和7年度S POD総会及びFD／SD分科会の開催について 【資料4】

事務局から資料4に基づき、令和7年度の総会及びFD／SD分科会の開催予定について説明があり、了承された。

### 5. 令和8年度S POD内講師派遣事業について 【資料5－1～2、参考資料3－1～2】

事務局から資料5－1～2、参考資料3－1～2に基づき、令和8年度S POD内講師派遣事業について説明があり、各コア校で、プログラム内容等について確認するよう依頼があった。原則、今年度掲載しているプログラムは継続した上で、各コア校で新規プログラムを1つ以上追加することを検討いただきたい旨、説明があった。

### 6. 令和6年度S POD事業評価委員会委員の評価への対応及び令和7年度事業評価シートについて

【資料資料6－1～2】

事務局から資料6－1に基づき、令和6年度S POD事業評価委員会委員の評価への対応状況について説明があった。今後、事務局、各専門部会等で最終確認の上、12月のコア運営協議会で報告することとなった。また、資料6－2に基づき、令和7年度の事業評価を3月に事業評価委員へ依頼することについて併せて説明があった。

### 7. 今後の予定・提出物等について 【資料7】

事務局から資料7に基づき、今後の事業予定と提出物について説明があった。

### 8. その他

- ・「大学教育カンファレンスin徳島」について

徳島大学吉田准教授から大学教育カンファレンスin徳島について、研究発表の申込状況及び開催日程等の報告があった。

## 令和7年度 第4回ネットワークコア運営協議会出席者名簿

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	高等教育研究センター教育改革推進部門 准教授	吉田 博	FD	○	
	高等教育研究センター教育改革推進部門 助教	飯尾 健	FD	○	
	高等教育研究センター教育の質保証支援室 助教	塩川 奈々美	FD	○	
	法人運営部 人事課長	林 三知夫	SD		○
	法人運営部人事課 副課長	大森 理佐	SD		○
	学務部教育支援課 課長、(兼)教育企画室長	真名野 佳代	事務		
	学務部教育支援課 副課長	白田 智子	事務		
	学務部教育支援課 教育企画係長	川上 ちぐさ	事務		
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	蝶 慎一	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	西本 佳代	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	藤澤 修平	FD		
	教育・学生支援部修学支援課 課員	野崎 真湖	FD		
	企画総務部 次長(併:企画総務部給与福利課長)	入屋 充	SD		○
	企画総務部給与福利課 課員	奥野 鈴花	SD		○
	企画総務部給与福利課 課員	白石 喬子	SD		○
	教育・学生支援部教育企画課 係長	島 明日香	事務		
高知大学	教育・学生支援部教育企画課 課員	藤沢 勇汰	事務		
	学び創造センター 准教授	高畠 貴志	FD	◎	
	学び創造センター(兼務) 准教授	俣野 秀典	FD	○	
	学び創造センター 特任講師	寺田 悠希	FD	○	
	総務部人事課労務管理係 係長	岡田 美波	SD		○
	総務部人事課労務管理係 主任	橋田 由貴	SD		
	学務部学務課 課長補佐	吉岡 瞳	事務		
	高知大学学務課総務係 事務補佐員	廣末 和香子	事務		
愛媛大学	教育・学生支援機構 教授	中井 俊樹	議長・FD	○	
	教育・学生支援機構 准教授	清水 栄子	SD		○
	教育・学生支援機構 准教授	仲道 雅輝	FD	○	
	教育・学生支援機構 講師	上月 翔太	FD	○	
	教育・学生支援機構 特任助教	真鍋 亮	FD	○	
	教育・学生支援機構 特任助教	葛西 崇文	SD		○
	地域協働支援部 部長	久保 秀二	SD		◎
	総務部人事課人事・人材育成チーム サブリーダー	小林 志穂里	SD		
	教育学生支援部 部長	桐野 律子	事務		
	教育学生支援部 教育企画課 課長	石川 尚	事務		
	教育学生支援部教育企画課総務チーム チームリーダー	西村 優作	SD・事務		○
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム チームリーダー	河内 貴博	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム サブリーダー	小川 達也	事務		

※◎は専門部会長

### ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)

(組織)第2 協議会は、次の(1)~(4)に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 議長
- (2) 各コア校のFD担当者
- (3) 各コア校のSD担当者
- (4) 各コア校の事務担当者

## S P O D フォーラム 2 0 2 5 の総括について

## 1. 参加者数等について（参考数値の 2023 は対面開催、2022 はオンライン開催（2024 は台風で中止））

- ・実数 477人  
[参考] 2023：450人、2022：581人、2021：572人
- ・延べ人数 1,567人  
[参考] 2023：1,340人、2022：1,492人、2021：1,753人
- ・1人あたり受講コマ数：S P O D 内 2.40、S P O D 外 4.85  
[参考] 2023：S P O D 内 2.03、S P O D 外 5.07
- ・研修料徴収対象者が155名のため、研修料収入は155万円（当初の見込み120名）  
[参考] 2023：128名／128万円、2022：158名／158万円、2021：193名／193万円
- ・プログラム別アンケートの満足度平均 3.61  
[参考] 2023：3.52、2022：3.62、2021：3.66
- ・今回が初めての参加者：52.1%  
[参考] 2023：38.0%、2022：40.1%、2021：54.7%
- ・フォーラム4週間後に全体アンケートをWEBで実施  
回答率：45.5% [参考] 2023：48.0%、2022：41.3%、2021：50.0%  
満足度：98.2% [参考] 2023：99.5%、2022：98.7%、2021：98.9%

## 2. 今年度開催の良かった点について（抜粋）

## ■運営

- ・運営側の様々な配慮が行き届いていた。

## ■開催方法

- ・オンライン配信で受講できたのが良かった。
- ・対面での研修のよさを実感できる。

## ■交流

- ・新しい情報を知ることができ、他大学の教職員と交流することで視野が広がった。
- ・他大学の職員と情報共有や課題を共有できた。

## ■受講成果

- ・現在の自分の業務に直結するスキルが磨かれた。
- ・時代に即した取り組みや、教職員・学生の人材育成について、根拠や裏付けだけでなく歴史の面からも紐解いて今、行うべきことを考え方の面も具体的なスキルの面でも知ることができた。

## ■プログラムの編成

- ・大学の役割など、大きな視点と現場で実践できる知識、技術と広範にわたるプログラムがあり、様々な役職、年代の教職員が参加したいプログラムとなっており、人脈を広げるよい機会であった。

## 3. 参加者からの要望等について（抜粋）

## ■運営

- ・ワークでノートPCを使用する場面がありますので、充電できる場所を増やしていただけますと助かります。
- ・アンケートは研修直後にいただけますと大変ありがとうございます。
- ・四国だけでなく、実質全国向けのフォーラムということを周知できるとよいと思う。

## ■開催方法

- ・オンラインで参加出来る内容については、もっと活用すべきだと思いました。
- ・対面参加とオンライン参加を併用できると、部分参加も可能になるのであります（平日3日間の出張が業務上の負担が大きいため）
- ・お昼が混雑するので、少し学生の時間とずらしてほしいと思いました。

## ■交流

- ・あまり遅くない時間帯での、全体の交流会があればいいと思います。

## ■プログラム編成

- ・ポスターセッションの時間が短く、情報収集や意見交換が十分にできなかつたので、セッション全体の時間を長くとって、発表者も他の発表に参加できるようにする方がよいと思います。
- ・プログラムとプログラムの間の時間が短くて、振り返りが十分にできないまま次に移動することになったため、アンケートを記入できるくらいのインターバルが欲しい。
- ・F D ・ S D 研修の割合や、プログラムの重複を考慮してほしい（受けたいプログラムが重なる）
- ・最近、授業改善系の新規研修が減っています。教員としては、このような研修を増やしてほしいです。

## ■資料

- ・配付される講義資料がすべてのスライドを網羅しておらず、やや不便だったので、網羅されたものを配付する形であると、もっと助かりました。
- ・発表者の発表資料を電子ファイルで欲しい。

## ■その他

- ・経験が浅い職員にも是非進めたいと思うのですが、もう少し初任者向けの内容の講座があれば参加しやすいかと思います。
- ・昨今の事務職員の高度化を踏まえ、事務職員に対する総合的（分野を問わない）な育成に関するプログラムがやや少ないように感じましたので、テーマを限定した参加者企画枠などを設けてもいいかもと思いました。

## 4. 開催して欲しい研修プログラムについて（キーワードなどを抜粋）

- ・A I （生成A I、業務効率化）
- ・教育や業務のD X化
- ・教學 I R
- ・会計系の基礎知識
- ・授業料免除関係
- ・メンタルヘルス関係（学生対応、教職員対応）
- ・多様性、LGBTQ2+
- ・学習支援、学生支援、保護者対応
- ・大学生や高校生の傾向
- ・大学院の現状
- ・人事評価制度
- ・教員評価
- ・大学経営
- ・認証評価
- ・組織マネジメント など

## S P O D フォーラム 2 0 2 5 参加者数

【参加者数】

区分	教員	職員	その他	計
S P O D 加盟校	102	198	5	305
S P O D 加盟校外	54	117	1	172
合計	156	315	6	477

【開催日別参加者延べ人数】

日程・区分	教員	職員	その他	計
8月27日(水)	180	299	1	480
8月28日(木)	252	543	9	804
8月29日(金)	142	141	0	283
合計	574	983	10	1567

【参考】S P O D フォーラムの参加者数経年変化

開催年	開催大学	開催日程	日数	参加人数 (実数)					内訳										延べ人数		
				合計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	小計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	うち 開催大学	うち 開催県 加盟校 (開催大学 以外)	小計	教員	職員	学生・ 大学院生		
2025	徳島大学	R7.8.27～R7.8.29	3	477	156	315	0	6	305	102	198	0	5	117	50	172	54	117	0	1	1567
2023	愛媛大学	R5.8.23～R5.8.25	3	450	117	332	0	1	310	83	226	0	1	79	115	140	34	106	0	0	1340
2022	愛媛大学 オンライン	R4.8.24～R4.8.26	3	581	207	371	0	3	411	163	245	0	3	57	111	170	44	126	0	0	1492
2021	高知大学 オンライン	R3.8.25～R3.8.27	3	572	276	295	1	0	372	209	162	1	0	40	99	200	67	133	0	0	1753
2019	愛媛大学	R1.8.28～R1.8.30	3	535	215	320	0	0	314	126	188	0	0	69	117	221	89	132	0	0	1734
2018	香川大学	H30.8.29～H30.8.31	3	463	196	265	2	0	275	115	160	0	0	73	18	188	81	105	2	0	1590
2017	徳島大学	H29.8.23～H29.8.25	3	405	169	230	4	2	225	91	131	3	0	69	49	180	78	99	1	2	1428
2016	愛媛大学	H28.8.24～H28.8.26	3	503	191	305	3	4	305	108	194	3	0	87	88	198	83	111	0	4	1469
2015	愛媛大学	H27.8.26～H27.8.28	3	488	197	285	0	6	286	112	172	0	2	74	69	202	85	113	0	4	1507
2014	高知大学	H26.8.27～H26.8.29	3	437	191	239	0	7	259	112	146	0	1	106	57	178	79	93	0	6	1295
2013	愛媛大学	H25.8.20～H25.8.23	4	560	209	312	35	4	369	130	204	35	0	112	128	191	79	108	0	4	1538
2012	徳島大学	H24.8.22～H24.8.24	3	496	168	271	53	4	373	129	191	53	0	103	46	123	39	80	0	4	1432

※2024は台風のため中止

## S P O D フォーラム 2 0 2 5 の申込み状況について（プログラム別）

日時	番号	プログラム名	講師	定員	受講者	内訳			受講人数		
						教員	職員	その他	充足率	加盟校	加盟校外
8月27日 (水) 1時限	2701B	参加者企画枠   組織外コミュニティが促す大学職員のキャリアと能力開発への影響	山田 尚彦	30	24	2	22	0	80 %	6	18
	2701C	参加者企画枠   教学マネジメント・内部質保証に寄与する学生参画の実践とは	荒木 俊博	60	37	7	30	0	62 %	5	32
	2701D	参加者企画枠   分野横断・分野融合の学びの価値とカリキュラム設計を考えよう！	林 透	40	24	13	11	0	60 %	5	19
	2701E	参加者企画枠   失敗から学ぶ教育への新たな視点	竹内 一	30	10	10	0	0	33 %	6	4
	2701F	参加者企画枠   フューチャー・デザインで大学の未来を考える	佐藤 浩輔	30	16	6	10	0	53 %	7	9
8月27日 (水) 2時限	2702A	大学IR入門－意思決定を支援する実践	中井 俊樹	140	59	21	38	0	42 %	20	39
	2702B	設置基準／設置手続入門－組織改革と活性化	宮内 韶也	36	29	2	27	0	81 %	6	23
	2702C	AI×教育：未来の授業デザインを創出するワークショップ	金西 計英 田巻 公貴	50	32	28	4	0	64 %	12	20
	2702D	初めてでもできるSD研修の企画・運営・評価	葛西 崇文 阿部 光伸	40	10	1	9	0	25 %	3	7
	2702E	パフォーマンスが上がる職場とは	島田 くみこ 浜田 昌代 高木 佳代子 坂本 規孝	30	14	1	13	0	47 %	6	8
	2702F	学生支援のこれまでと最新動向を知り、考える	蝶 慎一	50	47	15	32	0	94 %	24	23
8月27日 (木) 3時限	2703A	卒業時の学修成果の可視化と内部質保証	竹中 嘉一	140	85	35	49	1	61 %	23	62
	2703B	ゲームで考える職員間のギャップ	藤巻 晃 野口 里美	30	19	2	17	0	63 %	12	7
	2703C	地域の未来を拓くアントレプレナーシップ教育	佐野 浩也 石原 佑	60	33	23	10	0	55 %	19	14
	2703F	障害学生支援の観点から考えるユニバーサルデザイン	高橋 由子	50	41	14	27	0	82 %	18	23
8月28日 (木) 1時限	2801A	【対面】トップリーダーセミナー   現代の社会課題と大学の役割	斎藤 卓也	240	88	31	55	2	37 %	49	39
	2801B	明日から使える大学業務システム内製開発ハンズオン	末廣 紀史 木村 悠祐 川瀬 舞	40	29	5	24	0	73 %	12	17
	2801C	Power Query for Excel を用いた効率的なデータ処理	高畑 貴志	60	39	18	21	0	65 %	15	24
	2801D	保育・幼児教育分野のためのFDを企画しよう	寺川 夫央 塙川 奈々美	12	9	8	1	0	75 %	8	1
	2801E	学務系職員のための学生理解・支援	野口 悟	30	24	1	23	0	80 %	9	15
	2801F	留学生支援のための制度理解	岩田 剛	40	29	7	21	1	73 %	17	12
8月28日 (木) 2時限	2802A	【対面】トップリーダーセミナー   学び続ける事務組織と実践する職員の育て方	宮林 常崇	240	94	11	81	2	39 %	46	48
	2802B	「SPODオンラインFDコンテンツプラットフォームサイト」を活用する	飯尾 健	60	9	7	2	0	15 %	3	6
	2802C	ループリック評価入門～考える、つくる、活用する～	俣野 秀典	40	21	16	5	0	53 %	14	7
	2802D	自大学のFDを発展させるための評価と改善	上月 翔太	60	26	9	17	0	43 %	4	22
	2802E	ケースを通して考える学生対応	清水 栄子	30	24	9	15	0	80 %	15	9
	2802F	合理的配慮とその学生支援について考える	坂井 聰	50	39	16	23	0	78 %	17	22
8月28日 (木) 3時限	2803G	【対面】シンポジウム   「学生が安心して学びに向き合う大学の基盤づくり」	森 朋子 島田 くみこ 井ノ崎 敦子 佐藤 浩章	240	179	69	109	1	75 %	85	94
8月28日 (木)	オンライン	トップリーダーセミナー   現代の社会課題と大学の役割	斎藤 卓也		69	18	50	1		59	10
8月28日 (木)	オンライン	トップリーダーセミナー   学び続ける事務組織と実践する職員の育て方	宮林 常崇		56	10	45	1		41	15
8月28日 (木)	オンライン	シンポジウム   「学生が安心して学びに向き合う大学の基盤づくり」	森 朋子 島田 くみこ 井ノ崎 敦子 佐藤 浩章		69	17	51	1		34	35
8月29日 (金) 1時限	2901A	デジタル学修歴証明書入門	鈴木 洋	140	35	12	23	0	25 %	15	20
	2901B	教学IRにおけるデータ分析入門	眞鍋 亮	60	29	4	25	0	48 %	5	24
	2901C	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン	俣野 秀典	40	20	18	2	0	50 %	10	10
	2901D	指導補助者 (TA) 研修・フレFDプログラムをどう立ち上げるか?	佐藤 浩章	60	14	7	7	0	23 %	4	10
	2901E	Excelではじめる統計分析	飯尾 健	30	22	9	13	0	73 %	14	8
	2901F	実践事例から考えるキャリア支援	原 瑞穂 園子 賀津美 篠原 佳代	50	29	8	21	0	58 %	20	9
8月29日 (金) 2時限	2902A	40代からのキャリアデザイン：リスクリングで未来を拓く	久保 秀二 石川 尚	100	34	33	1	0	34 %	17	17
	2902B	自分の成長につながる自己啓発を考えよう	藤本 正己 杉原 康弘	32	17	1	16	0	53 %	6	11
	2902C	電子テキスト型コンテンツの制作と授業運用	林 敏浩	60	22	19	3	0	37 %	14	8
	2902D	大学生をリフレクティブラーナーとして育てる	上田 勇仁	60	13	11	2	0	22 %	5	8
	2902E	テキストマイニング入門	塙川 奈々美	30	26	13	13	0	87 %	14	12
	2902F	組織的な学習支援について考えてみよう	石田 明菜 清水 栄子	30	22	7	15	0	73 %	8	14
合計				2650	1567	574	983	10	59 %	732	835
									1567		

## S P O D フォーラム 2025 の申込み状況について（学校別：加盟校）

	学校名	教員	職員	その他	計
1	徳島大学	31	83	3	117
2	鳴門教育大学	2	4	0	6
3	香川大学	6	10	1	17
4	愛媛大学	8	23	0	31
5	高知大学	9	15	0	24
6	香川県立保健医療大学	0	0	0	0
7	愛媛県立医療技術大学	0	2	0	2
8	高知県立大学	1	12	0	13
9	高知工科大学	0	3	0	3
10	四国大学・四国大学短期大学部	2	8	0	10
11	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	20	13	0	33
12	高松大学・高松短期大学	0	0	0	0
13	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	3	0	0	3
14	松山大学・松山短期大学	0	1	0	1
15	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	1	2	0	3
16	高知学園大学・高知学園短期大学	2	2	0	4
17	高知リハビリテーション専門職大学	0	1	0	1
18	徳島工業短期大学	11	5	0	16
19	香川短期大学	0	1	0	1
20	今治明徳短期大学	2	0	0	2
21	せとうち観光専門職短期大学	1	2	0	3
22	岡山理科大学獣医学部	1	2	0	3
23	人間環境大学松山看護学部、総合心理学部および総合環境学部	0	8	1	9
24	高知健康科学大学	0	0	0	0
25	阿南工業高等専門学校	0	1	0	1
26	香川高等専門学校	0	0	0	0
27	新居浜工業高等専門学校	1	0	0	1
28	弓削商船高等専門学校	0	0	0	0
29	高知工業高等専門学校	1	0	0	1
合計		102	198	5	305

加盟校	102	198	5	305
加盟校外	54	117	1	172
合計	156	315	6	477

S P O Dフォーラム2025の申込み状況について（学校別：加盟校外）

学校名	教員	職員	その他	計
帯広畜産大学	2	0	0	2
北海学園大学	0	1	0	1
北海道教育大学	1	0	0	1
日本赤十字東北看護大学	1	1	0	2
秋田県立大学	0	1	0	1
茨城大学	0	2	0	2
宇都宮大学	1	0	0	1
関東学園大学	1	0	0	1
高崎健康福祉大学	0	1	0	1
群馬大学	0	1	0	1
京都文教大学	0	1	0	1
城西大学	0	3	0	3
東京電機大学	0	2	0	2
駿河台大学	0	1	0	1
日本大学	6	5	0	11
秀明大学	1	0	0	1
江戸川大学	1	0	0	1
城西国際大学	0	2	0	2
学校法人東京理科大学	0	1	0	1
東京大学	1	0	0	1
東京都立大学	0	2	0	2
芝浦工業大学	0	15	0	15
淑徳大学	0	2	0	2
立教大学	0	1	0	1
東京薬科大学	0	1	0	1
東洋学園大学	0	1	0	1
学校法人工学院大学	0	1	0	1
東京都市大学	0	1	0	1
明治大学	0	1	0	1
白百合女子大学	1	0	0	1
帝京大学	1	0	0	1
早稲田大学	1	0	0	1
鎌倉女子大学	0	2	0	2
桐蔭横浜大学	1	0	0	1
新潟大学	2	1	0	3
金沢大学	1	0	0	1
北陸大学	2	0	0	2
山梨学院大学	1	0	0	1
山梨県立大学	0	1	0	1
岐阜医療科学大学	0	1	0	1
大垣女子短期大学	1	0	0	1
愛知県立大学	0	1	0	1
豊橋技術科学大学	0	3	0	3
川崎医科大学	1	1	0	2
中部大学	0	1	0	1

S P O Dフォーラム2025の申込み状況について（学校別：加盟校外）

学校名	教員	職員	その他	計
名古屋芸術大学	0	1	0	1
愛知学泉大学	1	0	0	1
滋賀大学	0	3	0	3
立命館大学	0	1	0	1
滋賀県立大学	0	1	0	1
たちばな大路こども園	0	1	0	1
京都大学	0	2	0	2
京都女子大学	0	1	0	1
龍谷大学	0	3	0	3
中京大学	0	1	0	1
同志社大学	1	2	0	3
京都橘大学	1	2	0	3
公益財団法人大学コンソーシアム京都	0	1	1	2
大阪体育大学	0	1	0	1
大阪経済大学	0	2	0	2
大和大学	1	0	0	1
帝塚山学院大学	0	1	0	1
大阪音楽大学	1	0	0	1
大阪国際大学	2	2	0	4
関西福祉科学大学	1	0	0	1
近畿大学	0	1	0	1
甲南女子大学	1	0	0	1
神戸大学	0	1	0	1
神戸親和大学	0	1	0	1
神戸学院大学	0	1	0	1
神戸女子大学	0	2	0	2
鳥取大学	1	0	0	1
公立鳥取環境大学	0	4	0	4
鳥取短期大学	1	1	0	2
川崎医療福祉大学	0	2	0	2
岡山理科大学	4	0	0	4
岡山県立大学	1	0	0	1
ノートルダム清心学園	0	1	0	1
広島大学	0	3	0	3
広島国際大学	0	4	0	4
県立広島大学	1	3	0	4
広島修道大学	0	1	0	1
広島市立大学	1	1	0	2
広島工業大学	0	3	0	3
山口大学	1	2	0	3
神山まるごと高等専門学校	1	0	0	1
福岡工業大学	1	1	0	2
福岡歯科大学	2	0	0	2
長崎県立大学	1	0	0	1
熊本県立大学	3	0	0	3
日本文理大学	0	1	0	1
沖縄国際大学	0	1	0	1
合計	54	117	1	172

# 参考資料1－2

## SPODフォーラム2025事前アンケート集計結果

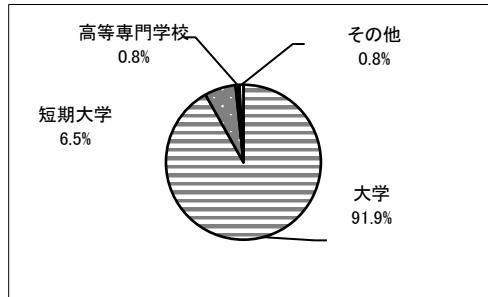
アンケート回答者数:491名

### 参加者の属性

#### (1) 所属先

	度数	割合
① 大学	451	91.9%
② 短期大学	32	6.5%
③ 高等専門学校	4	0.8%
④ その他	4	0.8%
計	491	100.0%

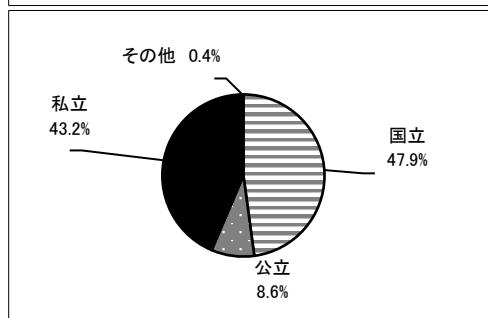
その他 : 学校法人本部(2), 公益財団法人(2)



#### (2) 所属先の設置者

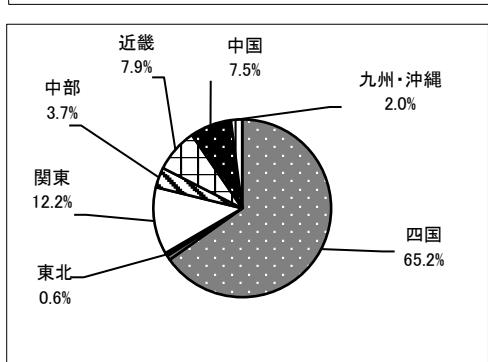
	度数	割合
① 国立	235	47.9%
② 公立	42	8.6%
③ 私立	212	43.2%
④ その他	2	0.4%
計	491	100.0%

その他 : 公益財団法人(2)



#### (3) 所属先の所在地

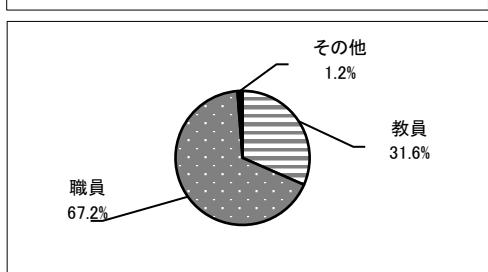
	度数	割合
① 四国	320	65.2%
② 北海道	4	0.8%
③ 東北	3	0.6%
④ 関東	60	12.2%
⑤ 中部	18	3.7%
⑥ 近畿	39	7.9%
⑦ 中国	37	7.5%
⑧ 九州・沖縄	10	2.0%
計	491	100.0%



#### (4) 職種

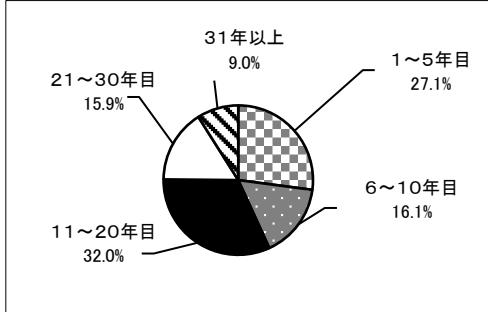
	度数	割合
① 教員	155	31.6%
② 職員	330	67.2%
③ その他	6	1.2%
計	491	100.0%

(その他:教員職員の兼業)



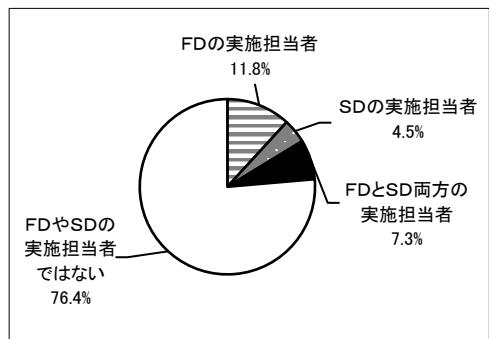
#### (5) 大学教職員等の経験年数

	度数	割合
① 1～5年目	133	27.1%
② 6～10年目	79	16.1%
③ 11～20年目	157	32.0%
④ 21～30年目	78	15.9%
⑤ 31年以上	44	9.0%
計	491	100.0%



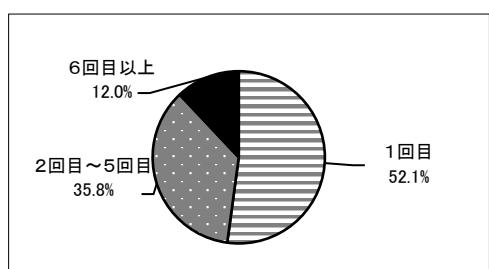
1. あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	58	11.8%
② SDの実施担当者	22	4.5%
③ FDとSD両方の実施担当者	36	7.3%
④ FDやSDの実施担当者ではない	375	76.4%
計	491	100.0%



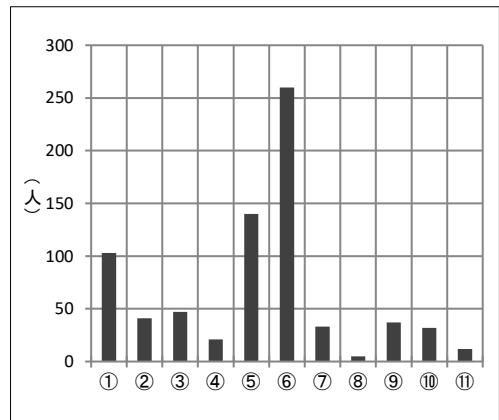
2. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	256	52.1%
② 2回目～5回目	176	35.8%
③ 6回目以上	59	12.0%
計	491	100.0%



3. SPODフォーラムをどこで知りましたか？(複数選択可)

	度数	割合
① SPODホームページ	103	21.0%
② SPODメールマガジン	41	8.4%
③ SPODフォーラムチラシ	47	9.6%
④ SPOD研修プログラムガイド	21	4.3%
⑤ SPOD関係者からの案内	140	28.5%
⑥ 職場の同僚・上司からの案内	260	53.0%
⑦ 知人からの案内	33	6.7%
⑧ 愛媛大学FD・SDチャンネルのX(旧Twitter)	5	1.0%
⑨ ぽっちゃんメーリングリスト	37	7.5%
⑩ メーリングリスト(tulip)	32	6.5%
⑪ その他	12	2.4%
アンケート回答者数	491	

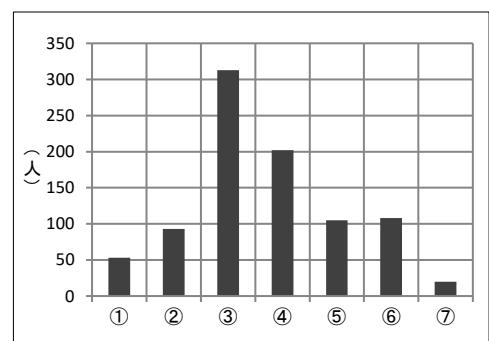


その他の記述回答

- ・ 大学からの案内 4
- ・ 職場からの案内 1
- ・ 関係者からの案内 3
- ・ 不明 1
- ・ 未回答 3

4. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)

	度数	割合
① 過去の参加者に参加をすすめられたため	53	10.8%
② 上司に参加をすすめられたため	93	18.9%
③ 自分自身の能力開発のため	313	63.7%
④ 組織の課題を解決するヒントを得るため	202	41.1%
⑤ 組織を越えた人脈づくりのため	105	21.4%
⑥ FDやSDに関する情報収集のため	108	22.0%
⑦ その他	20	4.1%
アンケート回答者数	491	



その他の記述回答

- ・ 同僚、知人から案内があったため 2
- ・ 業務内容に関わるプログラムがあるため 2
- ・ 講師を引き受けたため 6
- ・ オンラインでも参加できるプログラムがあるため 1
- ・ 受講したいプログラムがあるため 1
- ・ 受講したい講師がいるため 2
- ・ 未回答 6

## 令和7年10月1日付け教育学術新聞記事

2025年（令和7年）10月1日（水曜日）

教 育 学

## 学生支援テーマに活発な議論

SOPD

徳島大学で開催

愛媛大学が代表校を担当する四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）は、8月27日から29日までの3日間、徳島大学において、「学生が安心して学びに向き合う大学の基礎づくり」をテーマに、「SPODフォーラム2020」を開催した。全国120を超える高等  
教育機関から477人が参加した。

は「大学職員に求められる能力を可視化するルーブリックを提案しました。受賞を勧めにSDの括を務める愛媛大学の中野和也准教授(左)と、SPOD企画・実施部会長の伊藤洋輔准教授(右)が、SDの実現に向けた取り組みを説明する

井波教授は「巡回研修の機会が増える一方で、対面ならではの議論と交換を求める教職員が多いことを改めて確認できた」と振り返った。次回のフォーラムは2026年8月26日から28日まで、愛媛大学で開催される予定だ。

性)が審査動向の動きを見ると、本邦では、参

佐藤浩章教授を迎えて活発なディスカッションが展開



投票による審査に基づき、一分野横断学修者をアサポートするSA研修のデザイン」、「学修の手引き」改訂を通じた学生と教職員の協働、「SPOD→SDP」、能力育成ルーブリックの提案」の3件が優秀ボヌ賞を受賞。受賞者の一人である愛媛大学教育学生支援部の小川達也氏

フォーラムでは、39の研修プログラム、シンポジウム、ボスターセッションが実施された。学生理解や学生支援、日常的な授業や職務改善などを題材としたテーマで講論が展開され、グループワークで

は沿岸な通商交換が行われた。名刺交換も盛んに行われ、対開港地ならではの交流が広がった。シンボジウムでは、相模原大の森明子学長、高知工科大学の島田久みこ就職支援課長、徳

鹿児島大学の井川修一博士が導入し、東京大学の佐藤英三教授を指定討論者に迎えて討議。参加者からは「大戦的な発言で現場感覚の双方に感動することができた」との感想が寄せられた。

質問に「努力みたい」と語った。  
情報交換会では、久しぶりの再会を喜ぶ姿や新たな交流が生まれた。余興では阿波踊りが披露され、参加者も体験するなど大きな盛り上がりを見せた。  
SPOD企画・実施部会の中括弧を務める愛媛大学の中

井波哲教授は「巡回研修会の機会が増える一方で、対面ならではの議論や交換を求める教職員が多いことを改めて確認できた」と振り返った。

次回のフォーラムは2025年8月26日から28日まで、愛媛大学で開催される予定だ。

性と争奪戦を繰り返す。これは、競争の結果、常に進化が進む。

## S P O D フォーラム 2026 シンポジウム 「デジタル技術が変える高等教育の未来」案

### 概要

高等教育機関をめぐる状況は大きな変化を迎えており、2025年に発表された「「知の総和」答申」においては、「教育研究の「質」の更なる高度化」に加え、「高等教育全体の「規模」の適正化」「高等教育への「アクセス」確保」も求められ、より広くかつ長期的な展望をもって高等教育や自組織を構想する必要が高まっている。こうした中にあって、高等教育の望ましい未来像を描き、それに向けて自身や組織の能力を高めていく重要性を増している。本シンポジウムにおいては先鋭的・特徴的な取り組みとその取り組みを踏まえた未来予測を通じて、各参加者が未来の高等教育の姿を思い描くことを目指す。特に本フォーラム全体のテーマである「デジタル時代」に対応して、デジタル技術がもたらすキャンパスやカリキュラム、そして教職員の働き方についての議論の場とする。まず、シンポジストに「今、何を行っているか?」「25年後の高等教育はどのようにになっているのか?」「その未来に向けて今の大学教職員はどのような力を高めるべきか/何を行うべきか?」といった3つの問い合わせに対する報告・見解をお話いただいたのち、コメンテーターからシンポジストへの質問やコメントを行い、聴衆からの質問や聴衆の未来予測も交えながら、「未来の高等教育はいかにあるべきか?」といった望ましい未来への答えを、参加者がそれぞれ形成できることを目指す。

### 登壇者テーマ

- ・フルオンライン大学の実践から
- ・AIを活用した学習支援の実践から
- ・組織におけるDXの実践から

### コメンテーター：

中井俊樹（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）

### 司会：

上月翔太（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）

### 全体の進行

- 15:30-15:45 趣旨説明・事前アンケート（参加者による未来予測）の紹介（上月）  
15:40-16:00 シンポジスト1  
16:00-16:20 シンポジスト2  
16:20-16:40 シンポジスト3  
16:40-16:50 休憩・配置転換  
16:50-17:00 報告へのコメント（中井）  
17:00-17:25 ディスカッション（全員）  
17:25-17:30 クロージング

## 令和7年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

### 総会及びFD／SD分科会 実施概要(案)

#### 1. 総会

日 時：令和8年3月中旬～下旬

実施方法：書面開催

出 席 者：各加盟校の代表者等

審議事項：

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第9条6項に基づく事項

#### 2. FD分科会

日 時：令和8年1月28日（水）9:30～10:30

実施方法：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：各加盟校のFD担当者等

議 領題：

令和7年度SPOD活動報告

令和8年度SPOD活動計画 等

※主にFD事業について、広く意見交換を行う

#### 3. SD分科会

日 時：令和8年1月28日（水）11:00～12:00

実施方法：オンライン開催

出 席 者：各加盟校のSD担当者等

議 領題：

令和7年度SPOD活動報告

令和8年度SPOD活動計画 等

※主にSD事業について、広く意見交換を行う

## 参考資料3－2

令和7年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧(開催日順)

開催日	プログラム名	開催校	対象	講師所属校	講師	開催形式	受講者数		満足度
							対面	遠隔	
2025年6月6日（金）	大学の授業と著作権	高知リハビリテーション専門職大学・高知学園大学・高知学園短期大学	学内限定	高知大学	高畠 貴志	遠隔	38	18	94.9
2025年6月27日（金）	教学の基礎と政策動向	徳島大学	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	対面	40	0	97.0
2025年7月3日（木）	学生の主体性を促す学習支援	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	学内限定	香川大学	蝶 慎一	対面	47	0	85.4
2025年7月4日（金）	大学教職員の倫理—学生との関係を省察する	徳島工業短期大学	SPOD加盟校開放	愛媛大学	上月 翔太	対面	21	0	100.0
2025年7月18日（金）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	岡山理科大学獣医学部	学内限定	香川大学	蝶 慎一	対面	17	0	78.6
2025年7月29日（火）	組織の力を引き出す観察力養成講座	愛媛県立医療技術大学	学内限定	愛媛大学	仲道 雅輝	対面	37	0	100.0
2025年7月31日（木）	事例から考えるハラスメント	今治明徳短期大学	学内限定	愛媛大学	高木 佳代子	対面	27	0	100.0
2025年7月31日（木）	授業構成を考えるためのインストラクショナルデザイン	弓削商船高等専門学校	学内限定	愛媛大学	仲道 雅輝	対面	42	0	92.9
2025年8月4日（月）	アカデミック・アドバイジング入門	高知工業高等専門学校	学内限定	愛媛大学	清水 栄子	対面	30	0	92.3
2025年8月18日（月）	学生の文章力をいかに高めるか—ライティング指導を改善する	香川県立保健医療大学	学内限定	愛媛大学	上月 翔太	対面	31	0	100.0
2025年8月26日（火）	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	鳴門教育大学	学内限定	愛媛大学	阿部 光伸	対面	21	0	95.0
2025年9月1日（月）	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	高知大学	県内のSPOD加盟校開放	愛媛大学	阿部 光伸	対面	31	0	96.2
2025年9月1日（月）	大学教職員の倫理—学生との関係を省察する	人間環境大学松山看護学部及び総合心理学部	学内限定	愛媛大学	上月 翔太	対面	56	0	95.7
2025年9月2日（火）	高等教育機関の職員に必要な能力と専門性	香川短期大学	学内限定	人間環境大学	吉田 一恵	対面	42	0	88.2
2025年9月8日（月）	業務DX入門	高知工科大学・高知県立大学	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	対面	38	0	94.3
2025年9月8日（月）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	学内限定	香川大学	西本 佳代	対面	51	0	87.8
2025年9月10日（水）	職員のためのわかりやすい説明入門	香川大学	SPOD加盟校開放	愛媛大学	上月 翔太	対面	34	0	100.0
2025年9月10日（水）	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	遠隔	0	35	92.9
2025年9月10日（水）	これからの教職協働	高松大学・高松短期大学	学内限定	愛媛大学	清水 栄子	対面	59	0	95.8
2025年9月11日（木）	大学の授業と著作権	四国大学・四国大学短期大学部	県内のSPOD加盟校開放	高知大学	高畠 貴志	遠隔	0	141	96.0
2025年9月19日（金）	職員のためのわかりやすい説明入門	香川高等専門学校	SPOD加盟校開放	愛媛大学	上月 翔太	対面	23	0	100.0
2025年9月25日（木）	これからの教職協働	高知健康科学大学	学内限定	愛媛大学	清水 栄子	対面	18	0	100.0
2025年9月26日（金）	発達障がいのある学生に配慮した授業づくり	阿南工業高等専門学校	県内のSPOD加盟校開放	愛媛大学	三浦 優生	対面	44	0	97.6
2025年10月1日（水）	大学教職員として知っておきたい高等教育論入門	せとうち観光専門職短期大学	学内限定	愛媛大学	真鍋 亮	対面	18	0	100.0
2025年11月27日（木）	学生の文章力をいかに高めるか—ライティング指導を改善する	新居浜工業高等専門学校	学内限定	愛媛大学	上月 翔太	対面			#DIV/0!